



【休み時間は、スマホも笑いも飛び出す普通の女子でもあった】

この日、ラヨーンを出て、隣のチョンブリ県をドライブしてみた。

同じチョンブリでもビーチ沿いのパタヤ地区とは反対方向の山側で、のどかさが一面に広がる、如何にもタイといった風景が続く。そこで、目にしたのがこの光景である。

純白の衣装に身を包んだ乙女達の一団。

僧侶の説教そして読経に合わせ、一心に手を合わせる姿は、まぶしいかぎりである。

ここは、寺院（ワット・ウィ・ハーラ）の敷地内にある庭園なのだ。

この寺院では、一般の人を受け入れ、各種の修行コースが用意されているとのこと。

もちろん、女性だけが対象ではない。

後日、この写真を職場(発電所)の女性たちに見せたと、皆、真顔で羨ましがっているではないか。

「時間的余裕さえあれば、私も是非参加したい」、と。

興味本位の軽いのりでの参加なのかも、と、考えていた自分が恥ずかしくなった。

仏様の慈悲に、心の安らぎを求めるタイの人たちだったのだ。